

# チュウヒ

オス

翼の上や尾羽は青味がかかった灰色で、腰が白い



メス

全体的に茶色っぽく、翼の上や尾羽はまだら模様で、腰は褐色



幼羽

全体的に茶色っぽく頭と肩がクリーム色



チュウヒは年齢や雌雄による羽色の差が大きいことが特徴です

## サロベツで チュウヒがみられる場所



## チュウヒ観察の注意点

- ・ササ原や湿地、牧草地に立ち入らない
- ・車から降りずに観察し追いかけてまわさない
- ・長時間観察しない

チュウヒは警戒心が強い敏感な鳥です。観察や撮影は、車内や物陰から行い、なるべく距離を取って、短時間で済ませましょう。特に、頭上で羽ばたきながら飛び回ったり、ずっと旋回を続ける場合はその場から離れてください。

## 発行・お問い合わせ

- ・公益財団法人 日本野鳥の会 TEL: 03-5436-6190  
東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル
- ・NPO法人 サロベツ・エコ・ネットワーク TEL: 0162-82-3950  
北海道天塩郡豊富町字上サロベツ8662番地  
サロベツ湿原センター内
- ・監修: 先崎啓究 イラスト: 廣瀬実穂子  
・発行年月: 2021.3



鳥類情報→

草原の鷹

チュウヒ



# チュウヒ

## Eastern Marsh Harrier *Circus spilonotus*

タカ目タカ科

国内で唯一草原の地上で繁殖するタカ

体長：♂48cm ♀58cm

主にメスが抱卵・育雛し、オスが採餌する。

巣：ササ原・ヨシ原に作る。

卵数は3~6個で、巣立ちする雛は1~4羽。

採食：ネズミ、小鳥、カエル等

### 生活サイクル(サロベツ)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
越冬期(不在)			産卵抱卵期		巣内育雛期		巣外育雛期	分散期	越冬期(不在)		
影響 無			極大		大		中	小	無		

## チュウヒの繁殖分布

北海道118つがい(2020年調査時)

本州以南では20つがい程度が繁殖

本州以南(一部北海道)で越冬

サロベツ：58つがい

保護指定：国内希少野生動植物種(2017年~)

環境省レッドリスト：絶滅危惧IB類(EN)

詳しい情報は「チュウヒの保護の進め方」→



サロベツは  
国内最大の繁殖地!



## サロベツ周辺における チュウヒの保全上の課題

・サロベツ周辺の巣のうち1/4程度が農地や河川沿いなどの国立公園外にあるため、開発等により繁殖地や採餌場が失われる可能性があります。

・チュウヒは採餌場や営巣地周辺において、日常的に行われる農作業には慣れやすいですが、工事や調査、観察等には敏感に反応するため、実施の際には最大限の配慮が必要です。

・地上で繁殖するため、巣の存在に気付かれないまま周辺で作業が進められ、繁殖をやめてしまうこともあります。このため秘匿情報であることに留意をした上で、関係者への繁殖情報の共有が必要です。



撮影 富士元寿彦



## チュウヒの保全と 共存に向けて求められること



### 調査と繁殖地保全

調査を継続して行うことで、チュウヒの繁殖状況を確認しています。  
また、土地購入することにより、繁殖地の保護を目指しています。



### 情報の共有

報告会を開催することにより、チュウヒの保全の重要性を普及啓発し、開発業者に繁殖情報を提供することにより配慮を促しています。



### 展示・商品開発

チュウヒの重要性を広く普及啓発するために、サロベツ湿原センターにおける展示やステッカーなどの商品開発を行っています。